

条幅規定

師範正 鹿毛 純光

結体よく、運腕大きく、無理のない自然な用筆で、無難にまとめた佳作。ただ日頃の斬新さが欠けて魅力が半減したのは残念。潤筆、渴筆、大小、気脈など、起承転結、見せ場を意識して書こう。

条幅随意(臨書)

師範 徳永 直恵

帛書用の墨液か、何の墨であろうか。この湿度の高い季節、滲まずにこの真つ黒な線、白黒反転したような立体的な文字、燐宝子碑の独特の雰囲気がよく醸し出されている。名前は下がり過ぎか？

条幅随意

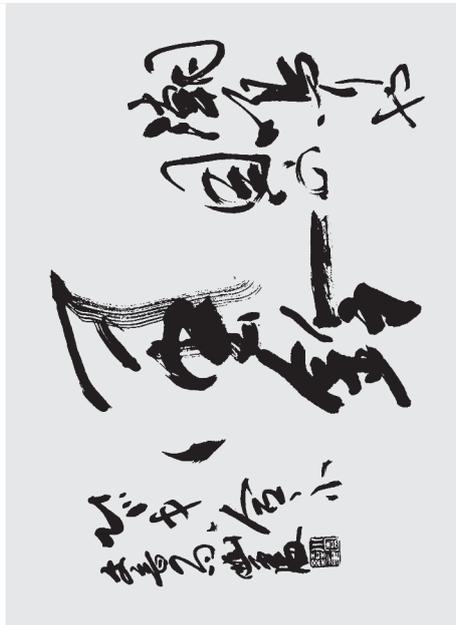
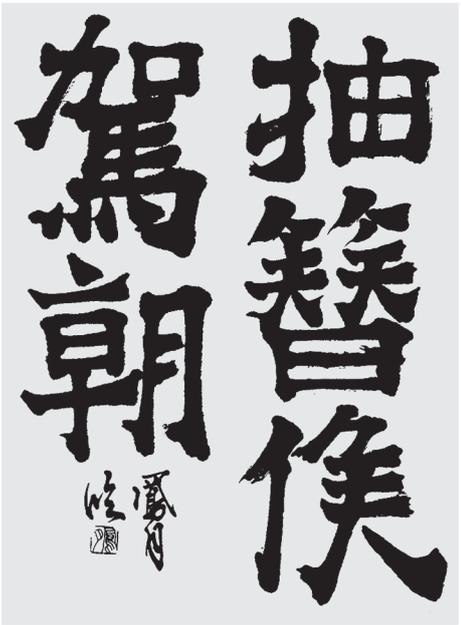
成家 足立 和子

宵闇に浮かび燃えさかる螢の命の煌めき。文字疎密と大小、計算された余白。詩情の豊かさと自然な構成も美しく、作品に生命の尊さと儂ささえ感じさせる快作。感性の豊かさは人生の勲章だ。

半折 ½横

五段 佐田 理子

書は線が命。「打てば響き、切れば鮮血が飛び散るような線」がいい。形は古典から、線は心の充実とちよつとした勇氣と根性の中から湧いてくる。スポーツも書も日々の練習が成果に繋がる。「鉄は熱いうちに打て。」



半紙規定

五段 永野扶美恵

無理のない確かな用筆とそれから生まれる骨力のある落ち着いた線。また、バランスの取れた構築性豊かな美しい結体が存在感を放っている。手本にならない書体にも挑戦しよう。

半紙随意

準五段 安達 幽處

迷いのない勢いのある運筆で生き生きとした躍動感に溢れた線が紙面に舞う。文字の小、造形にも作者の意志が感じられ、澁みない美しさのある作品に力量と感動を覚える。

半紙随意(臨書)

成家 深町 鳳月

原帖をよく観察し、無理なデフォルメを抑え、筆致ならではの自然な線質で、古典的印象を主観的に捉えた意臨的作品である。形臨から意臨への挑戦。流石成家の作品である。

六年 中川夢理  
銀河

鶴 彩世  
雲

ゆか  
由衣花

輝ける未来  
高江しほ

円田海翔  
月光

倉吉ひかり  
友達

小  
拓ま

ほし  
ねんわたなべとうあ

中二 徳丸 仁菜  
輝ける未来

五年 脇坂里奈  
友達

小四 白 幡朱莉  
雲

ほし

中川 夢理  
小六 準特待生  
思い切りの良い筆運びが見事で、さすが、準特待生ですね。「継続は力なり」の言葉通りの作品です。今後、さらに期待大!

鶴 彩世  
小四 初段  
どっしりと力のこもった線で元気がよく書けています。名前もしっかりと書けましたね。上位有段者に負けない力の持ち主です。

山根由衣花  
小二 5級  
半紙いっぱいによ衣花さんの元気があふれていて、見ている方も元氣のでるりっぱな作品です。今後、さらに期待しています。

学生部条幅 (1/4)  
中二 特待生 高江 しほ  
難しい課題でしたが、行書の流れをしっかりと理解し、リズムに乗って書けています。さすが、特待生ですね。今後は一般部へも挑戦しましょう。期待しています。

円田 海翔  
中一 六段  
堂々とした厚味のある線が伸びやかに書けています。行書の流れもしっかりと自分のものとして書けたすばらしい作品です。

倉吉ひかり  
小五 準四段  
とても難しい課題でしたが、友達とのバランスが良く、名前までとても上手に書けています。ひかりさんの今後は楽しみです。

高橋 拓眞  
小三 準三段  
き本の筆づかいがしっかりとできています。お手本をよく見てバランスよく書けたすばらしい作品です。さらにながら期待しています。

渡辺 斗愛  
小一 6級  
ちからづよいふでづかいでげんきよく書けています。なまえもとてもじょうずに書けましたね。これからもがんばってね。

徳丸 仁菜  
中二・三 特待生  
漢字と平仮名のバランスが良く、名前まで気を抜かずにつけた完成度の高い作品です。今後は一般部へも挑戦しましょう。

脇坂 里奈  
小五 準二段  
半紙いっぱい伸びやかに書けています。日頃の練習の成果が作品に表れています。この調子でがんばってください。

白幡 朱莉  
小四 準二段  
全体のバランス・字形・名前ともに上手に書けています。しっかりと練習が出来ていきます。今後さらに期待しています。

# 硬筆部最優秀作品

(7月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

段級	氏名	ま	つ	む	し	み	の	む
	もり	らん						
	さ	き	あ	わ	ね			

社会科学見学やそう合的な  
学習などでは学校いがい  
の場所であれかに関わる  
こともありません。

段級 氏名 玉置 藍

千年以上の昔から人々はどの  
ようなものを楽しみ何を見て  
どんな気持ちを感じていた  
のでしょうか。古典を読み昔の  
人々の心にふれてみましょう。

段級 氏名 浜本 心愛

昼すぎにはきれいな溪流に沿って  
山路へかかりました。美しい青空  
桃の花が咲く山村橋の上からはあ  
ゆの泳ぐのが見られます。生まれ  
初めて見るそれは桃源郷でした。

二年 段級 氏名 高橋 実瞳

段級	氏名	お	も	し	ろ	い	も	の
		を	見	る	た	び	に	
		ス	イ	ミ	ー	は	元	気
		を	と	り	も	ど	し	た
		ま	す	田	ま	友		

社会科学見学やそう合的な  
学習などでは学校いがい  
の場所であれかに関わる  
こともありません。

段級 氏名 橋本 海音

作った短歌を短冊に書いて読み  
合ひましょう。友達の「たのしみ  
が伝わってきましたか。すてき  
だな」と思う表現はありました  
か。友達に感想を伝えましょう。

段級 氏名 青木 美桜乃

美しき五月の光を輝くとうもろこし  
九州下は五月末の店頭で見かけますね  
産地は様々ですが北海道の旬はれから  
て露地栽培のものは九月までたけら  
そうです。

少さと納税やお取り寄せも一般的に  
なりまたり、私も朝獲れスマートフォン  
を予約し、今から準備中です。

スーパースーパー、今から準備中です。

書譜 段級 氏名 浅陽

段級	氏名	相	手	に	分	か	り	や	す	く	ひ
		つ	よ	う	な	こ	と	が	つ	た	わ
		る	手	紙	に	な	る	よ	う	に	書
		き	方	を	考	え	ま	し	よ	う	。
		吉	泉	光	琉						

千年以上の昔から人々はどの  
ようなものを楽しみ何を見て  
どんな気持ちを感じていた  
のでしょうか。古典を読み昔の  
人々の心にふれてみましょう。

段級 氏名 白濱 あおい

昼すぎにはきれいな溪流に沿って  
山路へかかりました。美しい青空  
桃の花が咲く山村橋の上からはあ  
ゆの泳ぐのが見られます。生まれ  
初めて見るそれは桃源郷でした。

段級 氏名 藤木 美羽

「好取物語」によれば人の世は、月世界  
で罪を得た者が流される「穢き所」で  
あるという。テロの絶えない国があり、  
核の脅威で稼ぐ欲望の国がある以上、  
異議を申し立てる訳にもいかない。

段級 氏名 川鍋 敬子

森崎 彩音 小一 準7級  
増田 満友 小二 準4級  
吉泉 光琉 小三 2級

マスいっぱい  
げんきよくかけ  
ています。おて  
ほんをよくみて  
しつかりとれん  
しゅうのできた  
すばらしいさく  
ひんです。

小一 準7級  
増田 満友  
一字一字お手本  
をよく見ていて  
ねいに書いた作  
品です。むずか  
しい漢字も形よ  
く書けています。  
これからがんば  
ってね。

小三 2級  
吉泉 光琉  
むずかしいペ  
ンで一生けんめ  
いにしようずに  
書けましたね。  
ペンの持ち方や  
姿勢に気をつけ  
るとさらに良  
くなると思います。

玉置 藍 小四 二段  
橋本 海音 小四 準初段  
白濱 あおい 小五 準四段

ペンを上手に使  
ってバランス・  
形ともにしつ  
かりと書けてい  
ます。さらに上  
の段位を目指し  
てがんばってね。  
期待しています。

小四 二段  
橋本 海音  
気のこもった強  
い線で、一字一  
字しつかりと書  
けています。ペ  
ンの使い方も上  
手です。この調  
子でこれからも  
がんばってね。

小五 準四段  
白濱 あおい  
お手本をよく観  
て一字一字とて  
も丁寧に形良  
く書けています。  
今後はペンを  
もう少し軽く握  
るとさらに良  
くなると思います。

濱本 心愛 小五 準三段  
青木 美桜乃 小六 四段  
藤木 美羽 中学 準特待生

書き始めから名  
前まで集中して  
書けています。  
とても完成度の  
高い見事な作品  
です。さらに上  
段位を目指し、  
がんばって下さい。

小六 四段  
青木 美桜乃  
気のこもった強  
い線で元気良く  
書けています。  
一生懸命に練習  
した成果が作品  
に表れています。  
今後はペンに  
も挑戦を！

中学 準特待生  
藤木 美羽  
丁寧なペン運び  
でお手本をよく  
観て形良く書  
けています。さ  
すが準特待生  
ですね。今後は  
一般部へも挑戦  
してくださいね。

高橋 実瞳 中学 六段  
樋口 凌陽 一般 師範正  
川鍋 敬子 一般 準四段

漢字と平仮名の  
バランスが良く  
明るく書けてい  
ます。左右の払  
いを少しゆつく  
り書くと完成度  
が上がりやす  
い。今後に期待大！

中学 六段  
樋口 凌陽  
美しい音楽が聴  
こえてくる様な  
流麗な作品です。  
抑揚の変化が自  
然で、明るく作  
品を纏められた  
ところに腕の確  
かさを感じます。

一般 師範正  
川鍋 敬子  
文字の大きさや  
漢字と平仮名の  
バランスが見事  
です。日頃の地  
道な練習の成果  
ですね。今後の  
更なる精進を期  
待しています。